平成30年度 指定管理者業務実績シート

作成年月日 令和元年 6月20日

部	経済部	課	商業振興課

施設名・所在地	函館コミュニティプラザ (函館市本町24番1号シエスタハコダテ4階)				
設置条例	函館コミュニティプラザ条例				
指定管理者名	Gスクエア	指定期間	平成29年4月1日~ 平成34年3月31日		
指定管理者の特 別な要件			選定 公 募 区分 非公募		
設置目的	若者の自主性および社会性の向上に資する場ならびに市民の多様な活動を支援し、および市民が相互に交流する場を提供することにより、中心市街地のにぎわいの創出を図ることを目的に設置。				
設置年月	平成29年4月	建設費	1,038,256千円 (床購入費 含む)		
構造規模等 耐用年数	鉄筋コンクリート造 地下1階地上19階建 4階部分 4階 函館コミュニティプラザ 施設面積 1,181.90㎡ 耐用年数:39年(法定耐用年数)				
開館時間 休館日等	開館時間:午前9時30分から午後9時30分まで 休館日等:1月1日				
料金体系	各施設のスペースを貸切で利用する場合に貸切料金が発生する。 施設名 10時~12時 12時~15時 15時~18時 18時~21時 多目的ホール 1,600円 2,400円 2,400円 2,400円 イベントスペースA 1,400円 2,100円 2,100円 2,100円 イベントスペースB 2,000円 3,000円 3,000円 3,000円 フリースペース 1,200円 1,800円 1,800円 1,800円 キッチンスペース 1,000円 1,500円 1,500円 1,500円 多目的室 800円 1,200円 1,200円 1,200円 ※使用者が2,001円以上の入場料を徴収する場合は、料金が2倍となる。 ※若者(30歳未満)が使用する場合は、料金が半額となる。 レンタル機材を使用する場合には、別途料金が発生する。 施設名 多目的ホール 映像設備 1,500円(プロジェクター、切換機) イベントスペースB 映像設備 1,900円(プロジェクター、電動スクリーンなど) イベントスペースB 音響設備 2,500円(マイク、アンプ、ワイヤレスチューナーなど) イベントスペースB 照明設備 2,100円(ホリゾントライト、調光器など) 多目的室 編集機器 600円(録音機材、パソコン、ビデオカメラなど) ※料金は利用時間1区分あたりの金額。				

1 指定管理者が行う業務の内容および実施状況

(1)管理業務

①維持管理業務

清掃業務(日常清掃,定期清掃),ごみ処理業務,警備業務,空調調和設備保守点検業務,

照明・音響・映像設備保守点検業務、シンボルアート(からくり時計・レリーフ)の保守点検維持管理業務、 備品等の動作確認および消耗品の補充等業務、自動体外式除細動器(AED)の管理業務、

消防計画の作成等業務、消火・避難訓練等の実施

→維持管理業務については、適正に実施されている。(清掃業務のみ再委託)

②利用者に関すること

利用者への案内, 施設設備の説明等, 使用許可申請書の受理および許可,

利用者に対する使用条件等の説明および打合せ、使用場所の設営、附属設備等その他備品の貸出し等、使用予定表の作成、使用状況の記録保管、使用の制限等、利用者の安全確保秩序の維持等、

→利用者に関する業務については、大きなトラブルもなく、適切に実施されている。

③設置目的に資する事業の実施に関すること

若者の自主性および社会性の向上のための企画に関する事業(プロジェクト事業)の実施、 市民への活動の場の提供等に関すること、利用の促進に関すること

→設置目的に資する事業の実施については、適切に実施されている。プロジェクト事業およびイベント

事業も計画以上に実施されている。

④公金収納業務に関すること

使用料の徴収, 領収書の発行, 徴収した使用料の払い込み, 徴収簿等の作成, 徴収状況の報告 →公金収納業務については, 適正に実施されている。

⑤その他の業務に関すること

事業計画および収支計画の作成,モニタリング業務,定期報告業務,臨時報告業務,業務日報等の作成,修繕および購入に関する報告,災害および事故発生時の対応,ビル管理組合との連携

→計画の作成、各種報告業務およびビル管理組合との連携については、適正に実施されている。

(2)委託事業

使用料収納事務委託

・使用料収納業務については、委託契約に基づき適正に実施されている。

(3)自主事業

・当該年度において、コピーサービスなどの自主事業を行った。

2 市民サービス向上のためのその他の取り組み実績

【若者の自主性および社会性の向上のための企画に関する事業(プロジェクト事業)の開催】

- ・Gスクエア 『軽音学部(仮)』
- ・新設校のワークショップ(校章制作・校歌制作)
- ・新商品の開発と販売を通じて函館を盛り上げよう!
- ・お菓子の家を作ろう!ワークショップ
- ・キッチントーク~シェフという仕事の中の「豊かさ」とは~
- ・2日で映画を作って上映会
- ・高校生・観光案内プロジェクト
- 「1年間感謝を歌に。vol.2」 など

【若者が興味・関心を寄せる内容のイベント等の開催】

- エキスパートの話を聞いてやってみよう!
- シエスタでSHARE (シェア) しようの会への参加
- Gスクエアのキッチンスペースを使っちゃおう!
- ・GaruSpace (大学生と高校生の勉強交流会)
- ・ガラクタ工房「Gスク イラストギャラリー」
- 学校祭応援週間
- ・高校生チャレンジグルメコンテストへの応募
- ・函工軽音学部&Gスクエア軽音学部(仮)楽器体験会『今,軽音部が熱い!』
- ・高文連道南支部ボランティア専門部 秋の研究大会
- ・合格祈願巨大絵馬の設置
- ・Acoustic Live HAKODATE vol.2 in Gスクエア
- ・ダブルグッチーを応援しよう!
- ・マナーセミナー(仮) など

3 市民ニーズの把握の実施状況

意見箱の設置

施設利用報告書の自由記載からの情報収集

意見交換会の開催

座談会アンケート(高校訪問) 利用状況に関する調査

- ・Webアンケート
- 対面式アンケート

4 施設の利用状況(利用者数,稼働率など)

・平成30年度の月別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
入館者数	14, 034	18, 249	14, 809	16, 473	21, 435	13, 449	(単位:人)
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入館者数	15, 377	14, 888	15, 056	15, 154	13, 424	15, 463	187, 811

• 年度別利用者数等

指定期間

(単位:人,円)

					(+III · / () 13/
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
			(平成31年度)	(平成32年度)	(平成33年度)
利用者数	276, 446	187, 811			
使用料収入	3, 208, 700	3, 618, 200			

5 指定管理者の収支状況 ← 指 定 期 間 →

(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度 (平成31年度)	令和2年度 (平成32年度)
収入	委託料	52, 328	48, 401		
	利用料金収入				
	その他収入	8 1	7 4 7		
	計	52, 409	49, 148		
支出	人件費	22, 906	27,417		
	水道光熱費	3, 139	3, 885		
	消耗品費	5 9 5	5 3 7		
	委託費	4, 984	4,762		
	賃借料	1, 622	1, 629		
	事業費	9,605	2, 813		
	租税公課	1, 026	1, 254		
	その他諸経費	7, 977	6, 780		
	計	51, 854	49,077		
当該施設の利用者一人当 たり税金投入コスト		177円	238円		

実地調査の実施 有・無

指定管理者 ・月次報告書の提出(毎月)

・実績報告書および収支決算書の提出

・利用者アンケートの実施

・評価シートによる自己評価の実施・提出

・実地調査、ヒアリングの実施(随時)

・評価シートによる実績評価の実施・通知

・円滑かつトラブルのない運営を行うよう指示

7 指定管理者に対する評価

市

① 指定管理者の自己評価

区分	評価	評価の内容	課題と今後の対応
業務の履行状況	■A □B □C □D	業務の履行に関しては、概ね適正に行われている。特に、利用者への対応は良好であり、プロジェクト事業、イベント事業ともに多数の事業を実施した。	計画を上回る事業を実施した。今後も若 者や利用者との日々の会話やコミュニケ ーション,アンケートなどを通じたニー ズの把握などに努め,魅力的な事業を展 開していく。
サービスの質の状況	□A ■B □C □D	館内に意見箱を設置,利用者交流会の 実施など,常に利用者ニーズの把握に 努め,サービス向上に努めている。	利用者交流会やアンケートなどを通じて, 若者や市民のニーズをより的確に把握し, 質の高いサービスの提供に努める。 スタッフの資質向上に努め,サービス向 上を目指す。
団体の経営 状況	□A ■B □C	コンソーシアムを構成する3団体とも 財務指標等はおおむね問題はない。	コンソーシアムを構成する3団体とも, 指定管理業務により団体の経営が左右さ れる状況にない。

市の指定管理者に対する実績評価

区分	評価	評価の内容	課題と今後の対応
業務の履行状況	□A ■B □C □D	業務は概ね良好に行われており、プロジェクト事業、その他の主催・共催事業、イベント事業と多彩な事業が多数行われた。 「ヨルスタ」については、全般的に定員にくらべて参加者が少ないものが多く見受けられたが、夜間の集客を伸ばす取組としては評価できるものであり、全体の履行状況に問題はない。	参加料を徴収するものは、参加料の妥当性、事業内容の精査、ターゲットとする世代への効果的な広報の手法を検討した事業展開が必要と考える。キッチンスペースについて、稼働率を上げるような効果的な事業を期待する。
サービスの質の状況	□A ■B □C □D	館内に意見箱を設置、利用者交流会の 実施など、常に利用者ニーズの把握に 努め、サービス向上に努めている。	多数の来館者があり、利用のマナー、ルールに関しての様々な意見等が寄せられているので、ケースごとの適切な対応が必要。
団体の経営 状況	■A □B □C	コンソーシアムを構成する3団体とも 財務指標等はおおむね問題はない。	コンソーシアムを構成する3団体とも, 指定管理業務により団体の経営が左右さ れる状況にない。

◎「業務の履行状況」「サービスの質の状況」

- A 協定書を遵守し、事業計画書及び仕様書の水準以上がなされている。
- B 協定書を遵守し、事業計画書及び仕様書の水準どおり行われている。
- C 協定書の遵守しているが、事業計画書及び仕様書の水準をやや満たしておらず、課題がある。
- D 協定書や事業計画書に不履行がある。または、業務水準を満たしていない。

◎「団体の経営状況」

- A 事業収支,経営状況に問題はない。
- B 事業収支,経営状況の今後に注意を要する。
- C 事業収支,経営状況に早急な改善を要する。